

2024年12月13日
商工中金

長崎県の伝統工芸品「波佐見焼」の普及に取り組む
株式会社中善をポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（佐世保支店）は、株式会社中善（本社：長崎県東彼杵郡、代表者：中尾 善之）に対し、製品の増産等に必要な資金として1億3,000万円の融資枠を開設しました。なお、本融資についてはポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、長崎県の伝統工芸品である陶磁器「波佐見焼」の窯元として、素焼きから焼成までの製造工程を担っています。生産工程を一部機械化することで、安定した品質の製品を、低コスト・短納期で提供しています。

今回同社は、エネルギー効率の良い窯への代替や照明のLED化などCO2排出量削減等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社中善の概要】

所在地	長崎県東彼杵郡波佐見町折敷瀬郷 1455
代表者	中尾 善之
業種	陶磁器製造業
資本金	2,400万円
従業員数	38名(2024年6月時点)
設立	1951年7月

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※) 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

